

## 収入計算書〔前年（2022年1月～12月）用〕

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、前年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

○進学予定学校名 \_\_\_\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_

○進学予定課程（該当の数字に○）：

1. 修士・博士前期課程／専門職大学院課程（法科大学院を除く）
2. 博士後期課程
3. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程
4. 法科大学院

○申込者氏名 \_\_\_\_\_

〔各項目1万円未満切捨て〕

前年(2022年1月～12月)の 収入額		
	収入項目	収入額 (A)
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) _____ 万円
	定職 (配偶者) 〔該当者のみ〕	(年額) _____ 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) _____ 万円
	アルバイト 2	(年額) _____ 万円
	アルバイト 3	(年額) _____ 万円
	父母等からの給付額 (★)	(年額) _____ 万円
	奨学金	(年額) _____ 万円
	・その他の収入(利子・配当・不動産・ 年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)	(年額) _____ 万円
	収入額合計 (※)	(年額) _____ 万円

〔記入時の注意事項〕

◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

〔重要〕

収入額合計は、0万円とならないよう記入してください。

※2024年1月～2月に申し込む場合でも「前年」は2022年となります。

〔収入欄に記入した収入証明書を裏面に貼付〕

**本年見込用  
(表)**  
変動ある場合のみ

本用紙は、「A3 サイズ 1 枚」により構成されています。前年（左面）の収入と本年（右面）の収入に変動がない場合、「本年」の記入は不要です。

## 収入計算書[本年見込（2023年1月～12月）用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、本年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書（但し前年の収入から変動のある証明書のみ）を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

【収入の状況】（以下の該当する方に、「○」を付けてください。）

	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動はありません</u> 。	➡	このページは記入不要。
	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動します</u> ので、以下のとおり報告します。	➡	両ページの各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目は、前年と同じ金額を記入）。

【各項目 1 万円未満切捨て】

本年(2023年1月～12月)の収入見込額		
	収入項目	収入額 (B)
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
	アルバイト 3	(年額) 万円
	父母等からの給付額 (★)	(年額) 万円
	奨学金 (申込中の奨学金は除く)	(年額) 万円
	・その他の収入(利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)	(年額) 万円
	収入見込額 合計 (※)	(年額) 万円

「変動」とは、別の勤務先が変わったり、アルバイトの数が変更になった場合を指します。収入の若干のゆらぎについては変動に含みません。

【記入時の注意事項】  
◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

【重要】  
収入額合計は、0万円とならないよう記入してください。

 本年收入見込額を「0円」とすると、前年の収入額合計で審査されます。

※2024年1月～2月に申し込む場合でも「本年」は2023年となります。

【前年の収入から変動のある証明書のみ裏面に貼付】

本年見込の収入について、前年と変動がない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用  
(裏)

証明書類貼付欄

〔前年の収入から変動がある証明書のみ貼付〕

- ・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。
- ・収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について（給付者が記入してください）

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】 \_\_\_\_\_ ○申込者との関係（続柄） \_\_\_\_\_

(2023年)

1月	円	7月	円
2月		8月	
3月		9月	
4月		10月	
5月		11月	
6月		12月	
		合計	円

スカラネット入力用合計金額 \_\_\_\_\_ 万円

スカラネット入力時の単位は「万円」です（1万円未満切捨て）。

例：合計額 309,700円 ⇒ スカラネット入力用合計金額 30万円

※ 月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。

**前年用（裏）**

**証明書類貼付欄** [収入に関する証明書のみ貼付]

・ 証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。  
 その場合、本用紙への貼付は不要です。  
 書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

**★父母等からの給付額について（給付者が記入してください）**

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】 \_\_\_\_\_ ○申込者との関係（続柄） \_\_\_\_\_

(2022年)

1月	円	7月	円
2月		8月	
3月		9月	
4月		10月	
5月		11月	
6月		12月	
		<b>合計</b>	円

↓

<b>スカラネット入力用合計金額</b>	万円
----------------------	----

スカラネット入力時の単位は「万円」です（1万円未満切捨て）。

例：合計額 309,700円 ⇒ スカラネット入力用合計金額 30万円

※ 月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。

# 【収入計算書について：奨学金案内 P22～25】

※前年用は2022年の収入状況、本年見込み用は2023年の収入状況を記入してください。

## 前年用（表）

[各項目1万円未満切り捨て]

前年(2020年1月～12月)の収入額		
	収入項目	収入額 (A)
定職 ①	定職 (本人)	(年額) 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト ②	アルバイト 1	(年額) 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
	アルバイト 3	(年額) 万円
	父母等からの給付額 (★)	(年額) 万円
	奨学金	(年額) 万円
	<small>その他の収入(用子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)</small>	(年額) 万円
	収入額合計 (※)	(年額) 万円

1.前年（2022年1月～12月）の収入額（1万未満切り捨て）

### ①定職

勤務条件が常勤の場合の収入

2022年分の源泉徴収票等（「支払金額」を記入）

給与所得者以外（自営業等）は2022年分の確定申告書(控)等

### ②アルバイト収入

定職以外の収入：源泉徴収票や給与明細

・どのアルバイト収入なのかわかるように、「アルバイト1」と余白に記入

・3つ以上ある場合は、残りをまとめて「アルバイト3」に記入

### ③父母等からの給付額

裏面に申込者氏名、給付者氏名、関係、給付額を記入

月別に記入できない場合、年額のみを合計欄に記入

・自宅通学の方は食費・住居費等、日常生活において本人に代わって父母から支出されている金額を算定して記入(授業料も含む)

・自宅外通学の方は、父母からの仕送りによる、授業料・住居費等を記入

### ④奨学金

2022年1月～2022年12月までに受けていた奨学金を記入

・返還確認票や奨学生証の写しを付ける

・学びの継続や国からの給付金は奨学金に含める。金額が分かるよう振り込まれた部分をにマーカーを引き、通帳の写しを提出。振り込まれているが証明書類を提出できない場合は、収入計算書の余白に「国からの給付金〇万円」等記入。

### ⑤その他の収入

①～④に当てはまらない収入を記入

・預貯金のみで生活している場合は直近の記帳部分を印刷して提出

## 本年見込用（表）

- ・2022年の収入と2023年の収入に変更がない場合、【収入の状況】は上の欄に○をつけてください。  
本年の収入見込み額は記入不要です。
- ・定職やアルバイトの証明書類は直近の給与明細（余白にアルバイト予定期間を記入）や年収見込証明書を提出
- ・父母からの給付額、奨学金、その他の収入に関する記入の仕方や証明書類は前頁を確認してください。
- ・貸与奨学金案内P25の表のとおり、収入変動の状況により、記入の仕方が異なります。

収入変動の状況	記入する内容
2023年中に途中就職した場合	無職の期間の収入金額等、及び就職してから2023年12月末までの金額（見込み）の合計
2023年中(申込月までに)途中退職した場合	申込月までに退職した定職・アルバイト以外の収入金額等（見込み）の合計 ※申込月までに終了した定職・アルバイトは含めない。  例) ①2022年12月から現在もアルバイトを続けている ・月額50000円の場合、5万×12ヶ月=60万円 ②2022年12月から2023年9月までアルバイトを行っていた ・申込月前に退職しているため、含めない ③2022年12月から2023年3月までアルバイトを行っており、2023年4月から新しいアルバイトを始めた ・2022年12月から2023年3月までアルバイト収入は含めない 2023年4月から始めたアルバイト収入を含める  (収入見込証明書を提出)
2023年中(入学月の前月までに)受けていた奨学金が終了した場合	入学月の前月までに終了した奨学金以外の収入金額等（見込み）の合計 ※入学月の前月までに終了した奨学金は含めない  例) 2023年3月に貸与・給付が終了。大学院予約採用に申請する。 ・現在申込中の奨学金は含めない
2023年中に収入が増減する場合	例) 2023年6月まで月15万円、2023年7月以降は月12万円の場合 ・本年見込年収金額は15万×6ヶ月(3月～6月) +12万×6ヶ月(7月～12月)=162万円